
市民との意見交換会会議録

報告者 斎藤雅彦議員、菊田広嗣議員

1. 日時 令和5年1月28日（土）午後2時～午後4時35分
2. 場所 中央公民館 2階 軽運動場・集会室
3. 出席議員 グループ1：三瓶裕司、円谷長作、馬場亨守、斎藤雅彦
グループ2：作田 博、国分勝広、菊田広嗣 （7名）
4. 出席市民 15名
5. 会議経過

【午後2時開会】

◇ 斎藤雅彦議員 開会宣言

◇ 三瓶裕司議員 挨拶

意見交換会は3年ぶりになる。この会の趣旨は本宮市議会議員基本条例に基づき、市民の意見を市制に反映させる機会の確保のために開催される。

意見交換会で得た意見は、精査を行い議会における対応方針を定め、政策形成に生かしていく。

（出席議員自己紹介）

【意見交換】

2グループに分かれ、意見交換を行った。

「①子育て・教育について」

グループ1

意見（市民）

- ・具体的にどの様な施策を展開しているのか。

答 円谷議員

・令和4年度重点事業として、「子育て応援センターあゆみ運営事業74万円」、「本宮方部学校給食センター設備改修事業4,222万円」、「しらさわ夢図書館機能充実事業」、「みんなの原っぱ運動広場維持管理事業」などがある。市では第2次中期経営計画を策定し、8分野のひとつとして「子育て・教育」に取り組んで、学校教育として「国内派遣交流事業」等にも取り組んでいる。

答 斎藤議員

・令和4年度第2次補正予算で1,267億円を予算化し、出産・子育て応援交付金が創設され、12月議会で出産・子育て応援金として2,100万円が予算化され、妊娠届出時（5万円相当）・出生届出時（5万円相当）の経済的支援が決定した。

意見（市民）

- ・業務量が増加しているなかで、市の小学校、中学校教員に対する支援はどの様なものか。

答 円谷議員

・部活動の資格を持った応援者を外部に委託している。教員の超過勤務手当は4%までと決められているため、自宅への持ち帰りが無いようにしている。

答 三瓶議員

- ・部活動の外部講師を入れて指導する費用は市で予算化している。

答 斎藤議員

- ・コンピュータのプログラミング教育は民間の外部講師を委託したり、英語教育についても外国人の英語教師を招いている。生徒ばかりでなく、教師に対しての講習も行っている。

意見（市民）

- ・地域に若い方がいなくて、子どもがいない。地域に支援（コミュニティスクール）をお願いされても難しい。
- ・ヤングケアラーの現状は。
- ・児童館に待機している子どもに、図書室が必要ではないか。

答 斎藤議員

- ・ヤングケアラーについては市では把握できていない。議会としても今後執行部に話をしていきたい。

意見（市民）

- ・教員のなり手不足や教員の負担軽減については、学校ではなく教育委員会で対応すべき。
- ・一昨年から自主夜間中学を4校運営している。中学3年生を5人指導しているが、全員1学年の2学期から不登校になっている。コロナの始まった年からである。現在教員志望の学生をアルバイトで雇い、減っている教員志望者に体験してもらおう取り組みもしている。不登校になった子どもに学校・家庭ではなく第三の居場所を作ってあげることが大切と考える。そういった取り組みをしている、子ども食堂、フリースクールや夜間中学のような民間団体の現場を見て頂き、良い活動をしている団体を支援して欲しいが、教育委員会に行って「相談があるので担当者の方を教えて欲しい」とお願いしたが、未だに連絡が無い。

答 斎藤議員

- ・現在、市ではスマイルルームで不登校になった児童・生徒の受け入れをしている。

質問 三瓶議員

- ・スクールソーシャルワーカーとの情報のやりとりはあるのか。

意見（市民）

- ・やりとりはない。情報のやり取りができれば、効果はあると思う。情報は時間がたつと変わっていく。

質問 斎藤議員

- ・アルバイトを雇っていると伺ったが、費用は団体の負担か。

意見（市民）

- ・4～5人雇っているので、月に8万円位かかる。授業は無料で年間2,000円でやっている。助成金を民間団体から頂いてまちづくり事業で市からも30万円頂いている。民間の財団や、NPOに助成金を申請して、1年目は155万円頂いたが、2年目は申請しても駄目になったりして赤字になっている。最近になり100万円頂いたが、生徒募集の新聞折込チラシも毎回30万円かかる。市の広報誌に掲載してもらえれば良いのだが、連絡が無いので話題にも出来ない。

グループ2

意見（市民）

- ・二中学区通学路の横断歩道薄くなってた（荒井工業団地内ナカノ商会そば）。通学路の安全性の定期的な確保ができるように点検改修のシステム構築をしてほしい。他にも同じような箇所があるのではないか。

答 作田議員

- ・その他の市内道路を含め、対応するようしっかりと（市に）お話しさせていただく。

意見（市民）

- ・しっかり人口減少対策をしていただきたい。岡山の奈木町では2.95人の出生率。若い世代に住んでいただくのが必要で色々やっていただいているのはわかっているが更なる子育て政策の充実を。
- ・もっとふるさと納税のアピールをすべき、方法を考えていただきたい。

答 国分議員

・人口減少は、現在の人口ボリュームによるので、必然である。どうしようもない。

答 菊田議員

・自分も子育て世代なので、こうだったらいいなと思うところは多々ある。先日、生活福祉常任委員会で明石市に視察に行った。そこではおむつ定期便事業等行っている。本宮市でも先進地の事業を参考にしながら、まずは若い世代が子育ての悩みを相談したり、孤立しない状況を作っていくことが第一歩だと思う。そのような環境構築を訴えていきたい。

答 作田議員

・人口減少には婚活の問題もある。本宮市では子育て支援事業計画を策定している。また本宮市人口ビジョンというものがある。それによると2060年には21000人になる。難しい問題。

・ふるさと納税については一時期、返礼品のエスカレートが問題になった。現在ではアサヒビールを返礼品に使用している。本宮市でも努力・PRはしている。

意見（市民）

・ふるさと納税、アサヒビールという話が出たが、他の商品はどうなっているのか。

答 菊田議員

・ふるさと納税の本来は、関りがあったり頑張ってもらいたい自治体への善意が基本だが、全国的に返礼品のエスカレートによって本義を見失った時期がある。本市ではやはりお得感があるのか、アサヒビールが返礼品一位である。ただし、それで他の地産品の返礼が落ちているのかというと、逆にアサヒビールの相乗効果で目に触れることが多くなり、微増している。

意見（市民）

・市長は広報等で本宮市を賑わいのある街にしなければならないと言っている。また住んでみたいまち本宮を目指している。大玉村では様々な移住や子育て支援をしている。子育てしやすい街づくりどのような施策をしていくべきか。

答 菊田議員

・今は人口減対策は増やすことではなく、減少をどのように食い止めるかが大事。賑わいのあるまちづくりでいうと出生率も大事だが、今後は関係人口・交流人口という人口指標も合わせて考えながら政策を展開すべきと考えている。

意見（市民）

・通学路が遠回りの場合があるが、更新しているのか。わざわざ遠回りになっている場合が見受けられて腑に落ちない。

答 作田議員

・防犯上、集団登校していただくためにそのような形になっているのが現状だと思う。また道路状況の問題で歩道があるかないかも勘案しなくてはならない。我々も通学路の問題は市に多くの意見を出している。それを受けて道路改良も進んでいるが、一気にできるものではないため、まだまだそのような道路は多い問題がある。

・先ほどの子育てしやすいまちづくりについてだが、給食費の問題もある。現在、本宮市と大玉村で同じ給食センターで配食しているが、片方の自治体だけ無償は難しい。またそのような問題で行政間での競争になるのはいかがなものかと考える。給食費については国が動かなくてはならない問題。

意見（市民）

・保育所通い、育児休暇を取ると保育所を退所することになる。育児休暇退所をなくしてほしい。

・第2子も保育所安くなるように（第1子が小学生になっても第2子無償など）。

・移住者への引っ越し補助の年齢制限の撤廃を。

・子供の遊び場施設は非常に充実している。

・一時保育、郡山の方は短時間利用の金額設定がある。回数制限の撤廃等も含めて慣らし保育しやすいように。

答 菊田議員

・しっかりと市に伝えさせていただく。

意見（市民）

- ・給食費の無償化は早くに。

答 菊田議員

・無償化の結果として、未納するような家庭環境の把握をできるツールを一つ失う可能性もある、賛否両論あると思うのでしっかりと議論していきたい。

・学校教育と比べ社会教育についての施策が弱い。人が少ない？社会教育人財の育成。さらに、施設も狭隘。人がいないから高木公民館、間仕切りもとってもらえない。

「②地域共助のあり方について」

グループ 1

意見（市民）

・本宮駅西口の送迎車には、おばあちゃんや女性の方が目立つ。家庭の中にいる方への行政の取り組みが必要ではないかと思う。地域的には男女平等（ジェンダー）なのか。

答 円谷議員

・介護の場合、地域的な問題で施設に預けるのではなく、まず家庭で面倒をみていることが多いのではないかな。

答 斎藤議員

・子どもを預けるところが無く、家庭で面倒を見ている方への支援はあまりないが、他市町村に比べても待機児童は少ない。介護も預かって頂ける施設が多ければ、女性の方も働きに出れる。市が企業誘致等に取り組み、女性が働ける環境を作ることが大切だと思う。

答 円谷議員

・市の保育所などは、待機児童を全員預かれる面積を持っているが、2歳以下だと3人に1人の保育士が必要だが足りていない為、預かれない。保育士確保に向け給与を上げる取り組みをしている。

答 斎藤議員

・正職員の保育士が集まらない事などから、会計年度任用職員の期末手当を引き上げて、採用職員を増やす取り組みを進めている。

答 円谷議員

・市の現状は、正職員が250人（給与総額14億2300万円）、会計年度任用職員が262人（給与総額6億842万6千円）が実態で、責任のない会計年度任用職員でいいと言っている方も多い。

意見（市民）

・住宅地、アパート、商店街などの地域割りが必要だと思う。農地をつぶして宅地の目の前にアパートができるなど、宅地と農地のバランスを市としてどの様に考えているのか。目の前の農地にいきなりアパートが建つのはいかがなものか。農業委員会は何を見ているのか。

答 三瓶議員

・市の土地利用については、マスタープランや国土利用計画があり工業地域、商業地域、住宅地等の地域を振り分けている。民間の土地利用の規制はなかなか出来ないが、土地に対して建物の高さは法律で決まっていると思う。農地転用は農業委員会12名のなかで、情報を集めながら決めている。

答 円谷議員

・国土利用計画、都市計画マスタープランが時の流れで良し悪しが変わってくる。4号線のロータリーから北は商業地域に用途変更になった。変更する場合はパブリックコメントを求めるようになっている。4ヘクタールを超える開発は県の許可が必要になり、農業振興地域やそれ以外の地域でも異なる。農業委員会は毎月委員会を開き認定を決めている。

グループ2

意見（市民）

- ・地域格差をなくし、平等な予算投入を。（道路整備等）
- ・郡山では50歳以上の帯状疱疹ワクチン無料化している。本宮市にも導入を。

- ・パークゴルフ場をもっと開放すべき（パークゴルフ以外の用途にも）、世代間交流の場としても活用を考えてほしい。トイレも遠いところにも欲しい。
- ・ゆるくつながって社会貢献できるシステムを総合的に構築したほうがいい。
- ・市としてベルマーク集める。例えばボランティアの成果を数値化できるように工夫してほしい。（達成感）

作田議員

- ・今後の地域共助についてもご意見をいただきたい。

意見（市民）

- ・共助の場合、個人情報やプライバシーにはタッチできない。その部分には市の方で把握して、町内会とのうまい共有はできないものか。→（公的な場で）市はやりますといていた。

「③その他」

グループ1

意見（市民）

- ・議題に共助ばかりでなく公助も入れて欲しい。
- ・議会議員選挙を無投票にならないように、議員を育てて欲しい。選挙も無く甘んじて4年間過ごすのでは進歩が無い。協調をするための努力を議員に要望したい。選挙をやらないうという結果は重大だと思う。

答 斎藤議員

- ・前回の無投票当選を受けて議員定数を見直す話もあったが、20人定数の変更はなかった。

答 三瓶議員

- ・興味のある方はいるが、声かけても社会保障は一切ない、年金は国民年金になり、子どもが2～3人いて家を建てて、議員になるのは、やはり社会的に地位のある方にとってはハードルが高く、断られた方も3人いたのが現実である。

意見（市民）

- ・区長に議員定数の話をしたということだが、区長の意見を聞いて貰いたいのであれば、区長を議員にするしかなくなってしまふ。議員削減をしながら全体を見られるようにして選挙をするようにするしかないと思う。

答 円谷議員

- ・議会で特別委員会を開催し、区長会、商工会、PTAなどの団体から意見を聞いたが、地域の代表が少なくなるのは困る事、本宮市になってから定数26名を20名に減らしている事、定数を減らすと当選ラインが上がりますます選挙に出る方が少なくなるという意見が出た。結果は現状維持になった。

意見（市民）

- ・子ども食堂は困っている方に食事を提供する場所だと思うが、本当に困っている家では恥ずかしくそういう場所に行かせない。（子ども食堂コスモス 浦井さん談）ある程度は機能していると思うが、それがこのあたりの（人の目が気になる）地域性だと思う。生活保護をなるべくもらわないと言う考えも同じだが、困ったときはハードルを下げて助けをもらえるような雰囲気づくりをしていった方がいいと思う。

意見（市民）

- ・子ども食堂をいっぱい地域に作って気軽に入れるようにする取り組みをすべき。

質問 斎藤議員

- ・館町でも子ども食堂をやっていると聞いているが。

意見（市民）

- ・町内会ではないが、水害で空き家になった家をリフォームしてやっている。

意見（市民）

・最初13区でやっていた方がやっている。地域との連携を取り、地域の子どもが参加できる場所にしないといけない。岩根にもあるが人が集まっていると聞く。

意見（市民）

・町内会との連携は取れていなく、参加している子どもも地元の子ではない。

意見（市民）

・議員に意見や連絡がしたい場合の連絡方法はあるか。

答 三瓶議員

・議員と連絡を取りたい場合は、日中は議会事務局に電話を頂くか、FAXで頂ければ、議員に連絡ができる。

意見（市民）

・空き家になる前にはどういった方法があるのか、また、空き家になった場合の対策は。

答 三瓶議員

・空き家対策は市でもかなり力を入れている。空き家になる前の対策はしていないが、空き家になって被害が出そうな時は、解体するような指導をし、補助もしている。

意見（市民）

・子ども食堂もそうだが、みんな人の目を気にしている。生理用品を職員に貰うというのでは実効性が無い。わからないようにして必要な人は持っていけるようにしないと効果は無いと思う。

答 三瓶議員

・学校のトイレや公共施設のトイレに生理用品を設置する事になっている。

グループ2

意見（市民）

・パークゴルフ場、お金を取って整備に回すべき。

・社会教育主事等の社会教育指導者がいない。

- ・まちたくの時間を長くしてほしい。
- ・議員は特に非常時には声がけ等をしっかりしてほしい。

【午後4時35分閉会】